

学校関係者評価委員会意見報告

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④ 3 2 1	<p>・毎年、高い国家試験合格率を達成していることはすばらしいことであり、先生方の努力の賜物と評価しているが、その実際の合格率等を客観的情報として示すことを検討した方がよい。</p> <p>・職場において、本校卒業生と日々共に働いているが、皆勤勉でありよく教育されていると感じている。</p>
② 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1	
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1	
④ 学校理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	④ 3 2 1	
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	

(2) 学校運営

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	<p>・適切である。</p>
② 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1	
④ 人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1	
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1	
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	

(3) 教育活動

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1	<p>・外部講師の確保のために学会や研究活動を活用できればよいのではないかと。</p> <p>・優秀な講師の確保は学校教育において不可欠であり、今後も努力して欲しい。</p> <p>・ほぼ水準を満たしているが、課題は外部講師の確保に関する点か。外部講師の質やレベルなどを計る機会はないが、委託時に講師として求められる要件など提示することも必要ではないかと。</p>
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1	
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1	
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1	
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1	
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1	

⑧ 職業教育に関する外部関係者(外部講師を含む)からの意見を取り入れているか	④ 3 2 1
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
⑪ 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

(4) 学修成果

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1	<p>・すべての学科において高い合格率を誇り、学校教育の充実ぶりが伺えるが、令和元年度においては唯一、歯科技工士だけが全国平均(95.0%)に僅かに届いていないようなので、原因を分析し今年度以降、更なる教育の充実につなげていくことを期待する。</p> <p>・卒業後の追跡は難しい。看護の世界ではより専門性を極めた認定ナースや専門ナースも増えてきた。ここを目指す学生も多いはずであり、卒業生の状況を定期的に調査する方法を検討して、卒業生の社会的活躍が追跡できるとよい。</p>
② 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1	
③ 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1	
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍等を把握しているか	4 ③ 2 1	
⑤ 卒業後のキャリア形成に係る情報提供相談及び支援をしているか	④ 3 2 1	

(5) 学生支援

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	<p>・国家試験合格率100%を目指して、今後も努力していただきたいが、成績不振者へのフォローアップ、国家試験取得に失敗した生徒へのフォローも継続して行ってほしい。</p> <p>・採用者側としても、人物を重視する傾向が強くなっている。各学部が教育方針に掲げられているとおり、「人間性豊かな人格」、「高い倫理観」を備えた教育に引き続き努めてほしい。</p> <p>・衛生福祉大学の教職員による模擬実習や説明は、医療現場の理解につながり、キャリア教育の一環となっている。</p> <p>・卒業生への支援体制について、卒業後のキャリアアップや再教育の観点から、教員や学校がどのように貢献しているかを評価する内容だと思うので、各職能団体の委員や研修講師として尽力していることなど、教員や学校の取り組みも具体的に記載すると、より効果的なのではないか。</p> <p>・⑨に関して、どのような形で社会が求める人物像を把握して、それをどのように教育現場に取り入れ展開しているかの取り組みを記載したほうがよい。</p> <p>また、本県の高卒業者数がこの10年で約2,000人減少している現状を踏まえると、社会人入</p>
② 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1	
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1	
⑦ 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1	
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1	
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1	
⑩ 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1	

⑪ 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者の同意を得た上で、実習を実施しているか	④ 3 2 1	学生の割合は今後増えることが想定される。勤労学生控除の申請・認定の状況や、既習得単位の認定制度の審査状況などもひとつの指標になると思う。社会人経験を持つ学生にとって入学しやすい点をPRすることも必要ではないか。
⑫ 実習において、学生が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善を講じているか	④ 3 2 1	

(6) 教育環境

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化が進んでいる施設設備は安全性が担保されているようだが、計画的な更新を期待する。 ・次年度はCOVID-19による教育環境整備が必要になると思う。 ・防火防災訓練を毎年実施しているが、近年自然災害も多い。防災は防火のみならず、地震など自然災害も含めた訓練が行われることが望ましい。この際に、「DMAT」などの活動も学べるとよいのではないか。
② 学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1	
③ 防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組は行われているか	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者数が少ない学部もあるので、引き続き学生募集の活動が必要。 ・教員を対象とした説明会は、担任や進路担当者が生徒を指導する際に有効であり、指導の充実につながっている。
② 学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1	
③ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
④ 学生納付金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

(8) 法令等の遵守

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・③の評価が「適切」になっていないが、問題点への取り組み及び改善は大変重要なことと考える。
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1	
③ 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1	
④ 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	

(9) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切4、ほぼ適切3、やや不適切2、不適切1	委員意見
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も貢献活動への学生の積極的な参加を促してほしい。 ・特記事項の6、8に対応する評価項目として①を加えても良いのではないか。
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1	

(10) 学術・研究活動

実 績	委員意見
「令和元(2019)年度栃木県立衛生福祉大学校自己点検・評価結果」の11・12ページ参照	・演題発表、講演等も積極的に行われているが、保健看護学部の活動が少ないようなので、数多くある看護に関する学術集会に積極的参加し、学術・研究活動が増えることを期待する。

(11) その他の意見

<ul style="list-style-type: none">・昨今のコロナウイルスの問題に関連し、今後、感染症対策をさらに強化し、学生は実習中に臨床への影響がないように対応するようお願いする。・歯科技工士は、とても離職率の高い職業の一つなので、一人でも長く活躍できる人材を育成できる教育機関であると期待している。・社会の変化に応じた医療人の育成にも対応が求められていることが多いことと思う。引き続き質の高い医療人の育成に努めてもらいたい。・これまで、数多くの優秀な人材を送り出してきた本校の実績は高く評価できる。一方、現場力に問題のある卒業生が増えている印象も伺える。専門知識だけでなく、相手を思いやり考えられる人間力の高い人材育成を図り「衛福大卒業生なら大丈夫」と思われるような学生育成に努めてほしい。
